

平成31年度（2年度）社会福祉法人夏秀会・グループホーム虹の丘事業計画

- 1 利用定員 1ユニット9名
- 2 職員定数 施設長を含め7名
- 3 事業開始予定年月日 2019年4月1日
- 4 事業運営基本計画

認知症を患っても、どのような重い障がいを抱えても、すべての人が「自分の思いを大切にし、自分らしく生活できる」ことを目指し、その人の人生経験、知識や生活歴を大切に考えたケアを目指します。また、地域との「つながり」を大切にし、その人の持っているつながりを継続できる支援を実践します。地域福祉事業は地域社会とともに歩むことでもあり、当法人が地域の人々に社会資源の一つとして活用され、私たちも地域の中でもてる専門性を発揮できるような活動を行います。

5 利用者の援助

自立支援を守りながら、地域への還元を考慮に入れた活動を援助します。職員が主体ではなく、利用者を主体とした地域還元を行います。例えば奉仕活動や認知症カフェの運営を、職員は見守る態勢を堅持し、出来る限り利用者主体の活動を援助していきます。また、地域の認知症を抱える家族支援を同時に実施していく中で、利用者自身にも役割を持ってもらえる援助活動に結び付けることを目標とします。

6 健康管理

定期検診を利用者だけではなく、職員を含め実施していきます。予防を重視し手洗、うがいを行います。利用者の栄養管理、口腔ケア、筋力維持を目指したトレーニングを定期的に行います。普段の生活から体調管理を目指した生活を目指すために、日課に関連した活動を取り入れます。

7 防災計画

事業開始して二年目となる年。地域との連携を防災活動に多く取り入れ、地域住民との防災活動の拡大を目指します。小規模の事業所なりに地域に還元可能なサービスまたはスキルを活かして非常時における避難所への協力について提案していきます。防災訓練は年間に3回は実施いたします。そのうちの一回は夜間訓練を実施いたします。

8 日課

日課は利用者本人による自治機能に連動し活動内容を決めます。但し、健康管理の観点から通常の買い物、調理、掃除、洗濯を計画的に、公平に利用者の方々と推進していく予定です。出来ることを維持するためにも、利用者本人の理解を得ながら、役割づくりに結び付くような援助を心掛けます。